

コミュニティ・スクールだより Vol.2

発行者 松ヶ崎小中学校 学校運営協議会
 コミュニティ・スクールディレクター 北愛子
 地域コーディネーター 石井沙耶

朝夕の風に涼しさが感じられる今日このごろ、皆様におかれましてはますますご壮健のことと存じます。

平素は学校での教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

8月31日(木)、令和5年度第2回 学校運営協議会を開催いたしました。

今年度より、地域と学校が共に子どもたちを育むことを目指して、松ヶ崎地区が一体となって何ができるのか【話し合う】時間を設けることに挑戦しています。

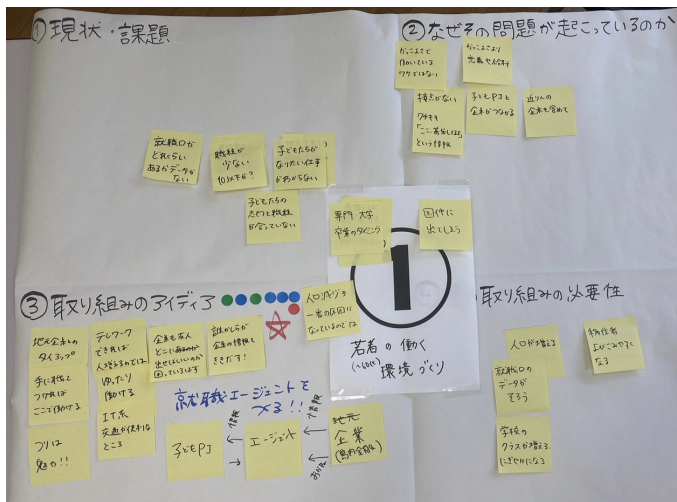
第2回目の話し合いの最終目標は【実際にみんなで取り組む案をいくつかに絞る】こと。5つの異なるテーマに分かれて話し合いを進めました。委員の皆様には「1番解決したい」と思うテーマのグループに加わっていただき、どのような取り組みができるか等のアイデアを出していただきました。

なお、それらのテーマは前回の話し合い「地域の課題やもっとこうなったら良いと思うところ」から抽出したものです。

▼テーマ一覧

- ①若者の働く環境づくり
- ②集まる場所・声を拾う仕組みづくり
- ③特色ある授業づくり
- ④地域資源（芸能・自然）の保存と活用
- ⑤子どもたちの放課後活動の環境の充実

▼こんな模造紙を使い、項目を埋めながら話し合いました



見づらいたですが… →
 以下の内容を話し合いました。

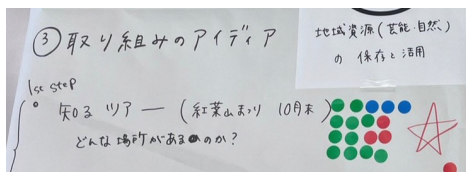
- ①現状・課題
- ②なぜその課題が起こっているのか
- ③取り組みのアイデア
- ④その取り組みの必要性

どれも難しいテーマですが、どのグループも活発に、時間いっぱい意見を出していました。話し合いのあとは、グループで考えた取り組みのアイデアを他グループにプレゼンしていただきました。



全グループのプレゼン終了後は、自分が良いと思った取り組み案に投票をおこないました。投票の方法は丸シールを模造紙に貼ること。1人3枚の丸シールを持って教室内を歩き回り、良いと思ったアイデアにシールを貼っていきます。

ここで工夫をしたことは、「それぞれの立場（地域・保護者・学校）ごとにシールの色分けをしたこと」です。そうすることで、1つの立場の方の意見に偏ることが起きないようにしています。



←たとえばこのグループの取り組みのアイデアには…
緑（地域）11票、青（保護者）3票、赤（学校）3票
とバランスよく投票されていました。
※白黒のため色が伝わらず申し訳ございません

投票のあとは、シールの貼られた模造紙を全員で眺めながら、どのアイデアに票が集まっているか、シールの色のバランスはどうか、確認しました。

その結果、以下の取り組みのアイデアについて、次回以降具体的に「実際にできるのか？どうやるか？」話し合っていくことに決まりました！

- ★紅葉山をもっとみんなの愛する場所に！まずは紅葉山について知るツアー
- ★誰でも学校にきて話せる、コミュニティルームをつくってみる
- ★バス通学しない日をつくってみる
- ★就職エージェントをつくってみる

前回同様、みなさんの子どもたち・学校・地域を想う気持ちを感じられる場でした。

日中はまだ暑い日が続きますが、体調を崩さぬようお過ごしください。